

# 杉並区災害備蓄品管理システム導入及び運用保守業務 企画提案書

令和7年9月11日

プライムバリュー株式会社

代表取締役 吉田 亮之

# ソリューション概要

自治体に特化したクラウド型備蓄品管理サービス「B-order備蓄管理版」をご提案

従来の紙やExcelに頼る備蓄管理をB-orderでデジタル化  
棚卸・期限管理の工数を削減し、法改正にも対応

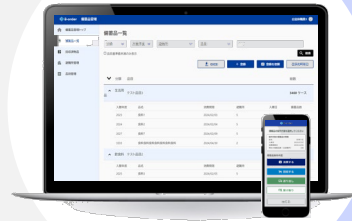
## Before

拠点ごとのExcelや紙での管理で  
棚卸し工数が膨大

納品・入替登録ミスが起こりやすく  
在庫とデータが不一致になることも

法改正による国報告で業務負担が  
さらに増加

紙やExcel任せの棚卸・期限管理が  
職員の大きな負担に



## After

棚卸・在庫更新を省力化

QRコードを用いた独自帳票などにより  
作業工数を大幅削減

誰でも簡単に備蓄管理

シンプルな操作だから担当が変わっても  
要請状況をすぐに把握、属人化を防ぎます





B-BLo連携で国報告を効率化

法改正で義務化された備蓄状況の公表・  
報告を、容易に出力・提出が可能に

平時からの備蓄棚卸・期限管理から  
国報告までをデジタルで効率化

## 主な機能（平時）

B-orderは自治体の平時の管理課題解決に特化した機能を豊富に実装しています。

-  QRコードで簡単棚卸・入出庫
-  内閣府システム連携で二重管理撤廃
-  リアルタイム在庫管理
-  CSV出力で報告業務も短時間化

### B-orderでの管理フロー

各拠点でQRコードをスキャン



自動的にデータがクラウドに集約



ワンクリックでB-PLo反映形式で出力



### QRコード活用

スマートフォンでQRコードを読み取るだけで、誰でも簡単に棚卸し作業が可能。従来5時間かかっていた作業がわずか10秒で完了します。



### 内閣府システム連携

B-orderから新物資システム（B-PLo）に必要なExcel形式で出力可能。転記ミスや更新漏れを防ぎ、二重管理を解消します。



### 関係各所との連携機能

備蓄品納品事業者にデータ登録や帳票貼り付けを依頼する機能などを設け職員の業務を減らします。



### 作業時間の大幅削減

日々の管理から定期報告まで、すべての作業が効率化。職員様の業務負担を大幅に軽減し、他の重要業務に集中できます。

### 他自治体での導入効果

93%  
作業時間削減

39%  
年間コスト削減

# 主な機能（災害時）

貴庁でご利用中のB-order要請版と組み合わせることで現場情報収集から支援要請までを一気通貫でデジタル化が可能。

備蓄管理版と要請版を組み合わせることで現地からリアルタイムに情報を収集して必要な物を協定先にWeb要請しスムーズに調達することが可能になります。



## 災害時に役立つ機能



### QRコード機能

避難者に提供した備蓄品を現地で即座に反映可能。およそ5時間掛かる情報収集が10秒に短縮可能※



### 棚卸し機能

能登半島地震の教訓から新たに追加された機能。現地に寄せられたプッシュ支援、寄付などの登録・管理が可能



### 一括登録機能

一括登録機能を活用することでオフライン時において現地で登録したExcel帳票を取り込むことでオフライン時においての情報収集が可能

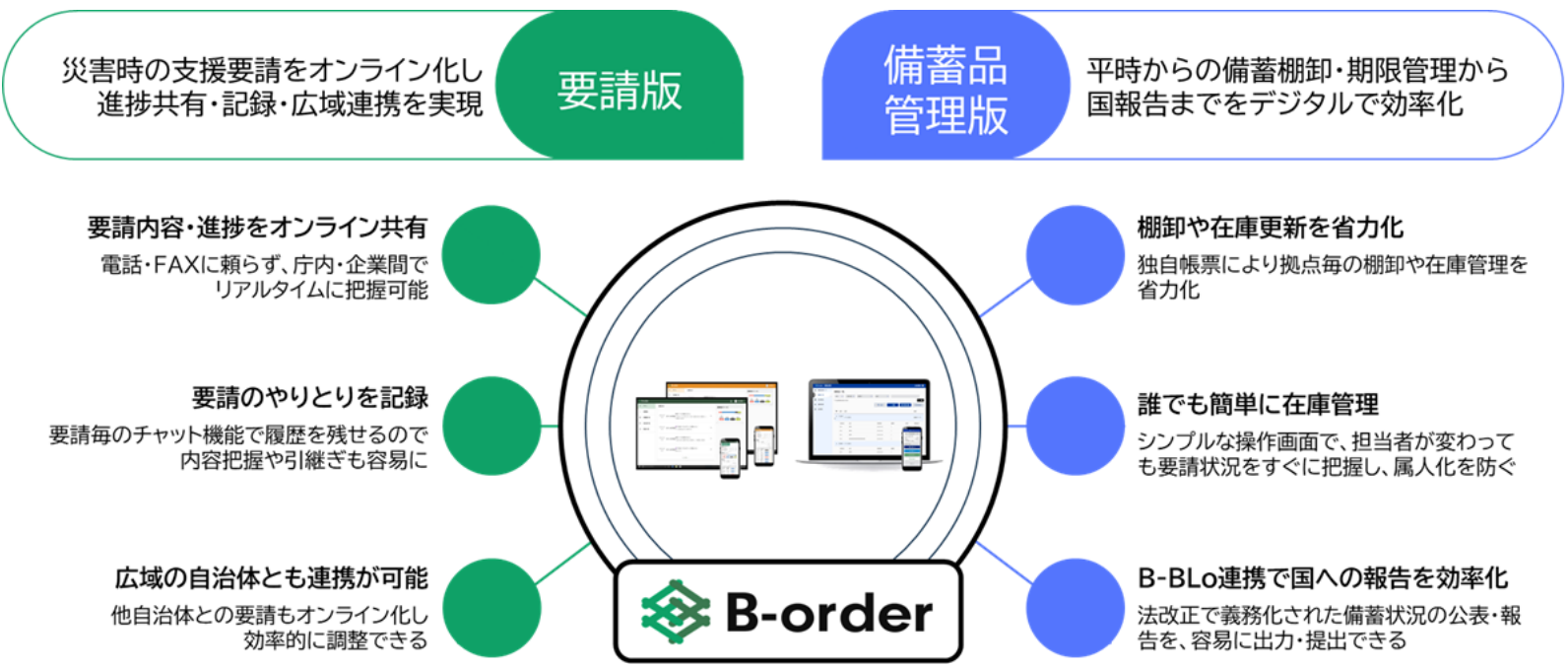
※導入自治体により実証(弊社調べ)



# 杉並区で実現する環境

## 自治体に特化したクラウド型備蓄品管理サービス「B-order備蓄管理版」

備蓄管理版と要請版を組み合わせることで現地からリアルタイムに情報を収集して必要な物を協定先にWeb要請しスムーズに調達することが可能になります。

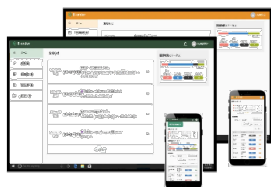


- 杉並区の備蓄品管理を効率化・最適化し、防災力の大幅な向上を実現します。
- 平時の管理負担を軽減しながら、災害時の対応力を強化する統合システムを提供します。

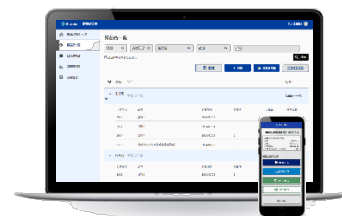
## 導入効果・他自治体実績

B-orderは全国の自治体・企業に選ばれています。平時の備蓄管理の環境改善から災害時の調達環境を一気通貫でサポート出来るのはB-orderだけ。

要請版



備蓄品  
管理版



全国**250**自治体以上

大手企業**100**社以上

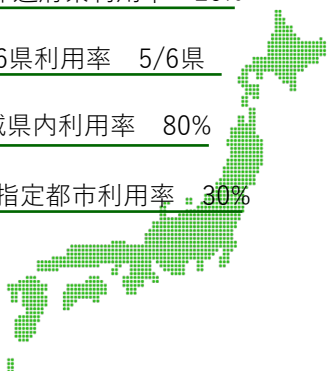
全国の自治体に導入が進んでいます

全国都道府県利用率 20%

東北6県利用率 5/6県

宮城県内利用率 80%

政令指定都市利用率 30%



あなたと、コンビニ、  
**FamilyMart**

**SAGAWA**

**KANSAI  
PAINT**

**サンドラッグ**

**COOP  
MIYAGI  
みやぎ生協**

**PLUS**

東京都国立市がR7年から利用開始

システム

宮城県気仙沼市がR7年から利用開始

システム

管理役務

宮城県多賀城市がR5年から利用開始

システム

管理役務

東京都墨田区がR7年から利用開始

システム

管理役務



## 企画提案書（概要版）

### ① 受託業務に対する考え方（取組姿勢）・提案内容の全体像

本業務においては、災害備蓄品の適切な維持管理と、災害発生時に迅速かつ正確な物資状況の把握を可能とすることを目的とする。

当社は、単なるシステム提供者ではなく、杉並区と共に運用を支えるパートナーとして取り組む。日常業務から災害時対応までを一貫して支援するため、在庫管理システム

「KG ZAICO」、内閣府システム連携用の集計ツール、災害時の情報可視化サービスを組み合わせたソリューションを提案する。

### ② 提案内容

#### （ア）日常的な備蓄品の維持管理業務

- ・ KG ZAICO により、PC・スマートフォン・タブレットからリアルタイムで在庫情報を管理。
- ・ 棚卸・発注点管理・期限管理などの基本機能により、効率的な備蓄品管理を実現。
- ・ 内閣府システムに登録可能な在庫管理表を簡単に生成する集計ツールを提供。

#### （イ）災害時における備蓄品の維持管理業務

- ・ 可視化サービス を活用し、避難所ごとの開設状況・避難者数・物資充足率を電子地図上に表示。
- ・ 必要物資量を自動算出し、物資手配・在庫更新を迅速化。
- ・ 災害時における物資管理の即時性と正確性を確保。

#### （ウ）他社より優れている機能・アピールポイント

- ・ KG ZAICO は 直感的な操作性 により、災害時に普段利用しない職員でも短時間で利用可能。
- ・ 全国の自治体で導入され、災害備蓄品管理の実績が豊富。導入実績は年々増加中。
- ・ API を活用したシステム拡張性を備え、避難所受付システム等の他システムとの連携も可能。

### ③ 提案によって期待される効果

- ・ 平時における備蓄品管理の効率化とミス防止。
- ・ 災害時における避難所物資状況の可視化により、円滑な物資供給を実現。
- ・ 内閣府システムへの登録作業を大幅に簡素化。
- ・ 操作性・拡張性に優れたシステム基盤により、継続的な改善・高度化が可能。

### ④ 件名

杉並区災害備蓄品管理システム導入及び運用保守業務

以上



# 杉並区災害備蓄品管理システム導入及び運用保守業務 企画提案書

## 現状認識と提案基本方針

### ① 災害備蓄品管理業務の現状

**備蓄計画:** 避難者1人あたり3日分の食料・飲料・生活用品を確保。区内112か所の倉庫および避難所を管理。避難所あたり1,800人の避難者受け入れを想定

**備蓄品の納入・棚卸:** 納入時に区職員が現地に立ち会い、納入確認とあわせて棚卸作業も実施。全拠点一斉棚卸なし

**寄贈・配布:** 賞味期限が残り1年を切った備蓄品を入れ替え対象として4拠点に集約し、寄付・配布・売却。別台帳で管理

**備品の貸し出し管理:** 備蓄品の管理対象に共用備品や資材も含む。貸出管理も別台帳で実施

**災害時の対応:** 都が調達・輸送、区が受領・区内の避難所へ配布。区独自の民間協定や他自治体との相互援助、スクラム自治体支援会議を通じた連携あり

### ② 管理台帳の現状

**管理手法:** Excel台帳を在庫把握、購買計画に活用。職員間で共有

**管理項目:** Excel分類を内閣府システムに整合。一部独自の分類有

### ③ 昨今の外部環境変化

**内閣府新物資システム(B-PLo)への改定:** 2025年4月に改定

**備蓄情報の公開義務化:** 災害対策基本法の改正により、年に1度公開義務化

## 提案の基本方針(解決課題)

- A) 備蓄品在庫管理項目の標準化と一元管理
- B) 備蓄品在庫データの外部共有、ワークフローの確立
- C) 内閣府B-PLo報告業務の自動化

## 取り組み姿勢と提案概要

### システム機能提供のみならず業務や帳票改善のサポート

- ・ 災害備蓄品の物流・棚卸業務を行う事業者と災害備蓄品管理の専用システム開発事業者による共同体制
- ・ 単なるシステム化のみに留まらず、他機関との連携のあり方や備蓄品の貸出管理などの他業務との併用により費用対効果向上案なども提案
- ・ 本業務におけるシステム導入後も使い方のサポートに留まらず業務改善についても支援

### 継続的なシステム改善と新機能開発

- ・ 備蓄品管理システムは2021年4月に最初のバージョンをリリースした後、4年以上にわたり全国の自治体や企業の備蓄品管理担当者の声を元に改善を続けているシステム。今後も機能追加・改善を継続

### 24時間365日のサポート受付体制

- ・ 災害時こそ稼働が求められるものであるため、24時間365日での受付体制をご提案。
- ・ 従前より別事業で構築済みの24時間365日体制を活用することで現実的な費用感でのサポートを実現

### 提案概要: 防災備蓄管理システム BxLink活用と24/365体制の整備

- ・ 自治体や企業の防災備蓄品を一元管理するクラウド型システムです。備蓄計画の策定、入出庫、在庫・期限管理、棚卸、集計報告業務等、災害備蓄品管理に必要な機能を網羅したシステム



# 杉並区災害備蓄品管理システム導入及び運用保守業務 企画提案書

## 提案内容と期待される効果

### (ア) 日常的な備蓄品管理業務における効果

**備蓄計画:** 備蓄充足率が把握可能。備蓄品購入計画立案が効率化

**備蓄品の納入業務:** Excelファイルからの一括登録、見積書や納品書をスキャン登録を活用したデータ登録の効率化。納入業者へのQRコード貼付依頼。貼り付けたQRコードによる在庫確認・出庫効率化

**備蓄品の棚卸業務:** 倉庫ごとの棚卸進捗を可視化。作業者はPC・スマートフォン・タブレットから直接棚卸情報を入力して作業が効率化

**期限切れ品の把握と備蓄品の寄贈・配布:** 賞味期限日、期限切れが発生するまでの月数や入れ替え年度表示などで期限切れ防止

**複数部門・関係者との共有(ユーザー管理):** ユーザーごとの倉庫・在庫の閲覧・書き込み権限管理。災害備蓄品以外の備品も他部門と共同管理するなど費用対効果を向上

**報告業務:** B-PLoにワンクリックで在庫同期。同期スケジューラー機能によって報告忘れや登録漏れといった人的ミスをゼロに

### (イ) 災害時における備蓄品の管理業務改善効果

**充足率把握:** 避難所ごとに実際の避難者数を変更しながら備蓄品の過不足を充足率として把握。必要な物資量を容易に算出可能に

避難所管理システムと連携して、より迅速に充足率を把握可能に

**内閣府システムとのスムーズな連携:** 各担当職員が持ち場の備蓄品数量を直接データ更新しつつ、災害対策本部がワンクリックで内閣府システムに報告するといった業務効率化が可能に

### (ウ) その他のご提案と効果

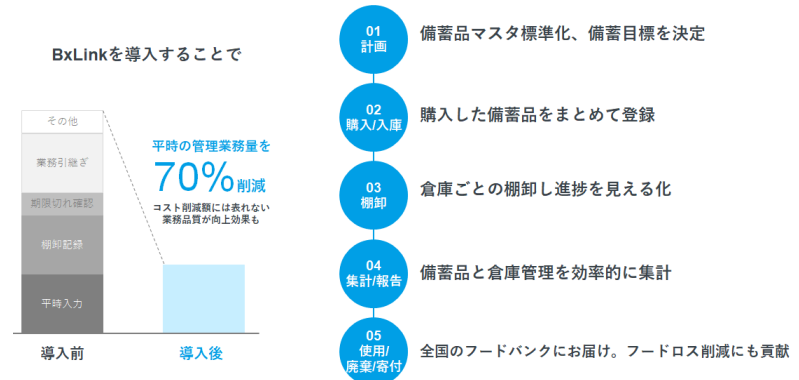
**備蓄情報公開機能:** BxLink上の在庫をホームページに1行タグを埋め込むだけで簡単に公開することも可能。情報公開業務を効率化

**運用保守体制:** 災害は予測不可能であることから、24時間365日対応の運用保守窓口の設置を提案

**海外拠点のバックアップサイトのご用意:** 万が一国内拠点が機能停止した場合に備え、海外拠点のバックアップサイトも用意可能

## 導入効果(2)

- ・ 平時の在庫管理業務を約70%削減
- ・ 備蓄品マスタデータの統一化、業務履歴の保存、他事業者との連携機能などにより業務品質自体が向上



## BxLinkのB-PLo連携の特長

### B-PLoの特性

- ・ 在庫に対して施設ID、小項目IDの付与が必要
- ・ 区独自分類の登録は実質不可能
- ・ 在庫数0にするためには前回同期時からの差分分析が必要

### BxLinkのB-PLo在庫同期機能

B-PLoの特性を深く理解した仕組み

